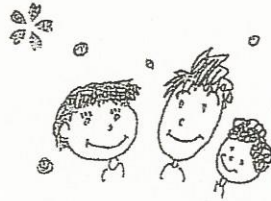


よりのそう



編集責任:三好(ホタル・まきゆうに)

寒むっ!! 綾織のブドウの作業

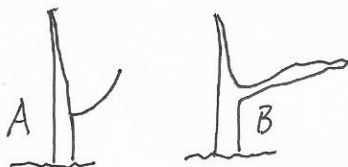


2015年11月
以来の遠野
での活動。
(2016年は熊本
地震で遠野

まごころネット
が開いた南地市のボランティアセンターで活動。
2017年は居住地の環木市で役がまわって
1年間従事し、動けなかった)

間が2年間あくと、活動場所も、活動内容
も変化すると実感。でも、長い空白にもかかわ
らず、事務局スタッフは大歓迎して下さい。

午前9時、作業開始。荒川哲也さんと私の
二人だけなので、ブドウの木にワラを巻く手
11頁、マリオの指導を受ける。Aの枝張りなら



簡単にワラを巻き、ひも
でしばる事ができるが
Bの枝張りの場合な

かなかむずかしい。悪戦苦闘する。雪がふり、
風が吹くので指先がかじかむ。軍手をして
いるとヒモが絡む。10:15 休憩。

ワゴン車の暖房でホッとする。ホテルで起
きた時、雪が降っていたので「今日、できが
な〜」と思っていた。駅前事務所へ行くと、
荒川さんのワゴン車が停っていて、「どうやら、今

日は、活動できるらしい」と分かった。「おはよう
ございませう」の挨拶をして、作業内容聞き
き、細川さんに見送られて出発。

休憩あけて車外に出る。晴れ間が
出てきたが、変るす風しはあり、冷たい。荒
川さんは「一本、だいたい4分で私は巻いてませう
とのこと。ここ綾織寒風地区は2300本位
のブドウの木があり、上段・中段・下段の
三区画になっている。上段は、団体ボラン
ティアがあったが、ほとんど荒川さん一人の作業
だったという。すでに済んでいた。中段は
21列 1列36本のブドウの木があるが、
1/3は済んでいた。再び作業。時々「こ
幹が出ています」と荒川さんの「又出し」
どうも裏面に目かどいていいる。荒川さん
が3~4本すすむ時、私は1本という感じ。

釜石系泉のディーゼーカーが三
車両で走る。午後、荒川さんの両親がかけ
つけて下さり、薄リゴム手袋を私にくださ
り、親・人指し・中指の先をほさみで切り、下
す。にれど、寒くなるし、ヒモも絡むませう」な
まことに都合がよかった。4人になると、が然
進むのが早く

なり、ナント2
列半も完了。
1人だと1列と
1/3か1/2だ、と哲
也君は言っていた。
夕ぐれ過ぎ午後
3時45分終了。



荒川さんのご両親がこれ、
午後4人で作業